



■活動日：2017年4月22日（土） 10:00~15:00

■参加者：チーム神於山 正会員 14名

■活動内容

- ・今回は、前回（8日）の活動日と異なり穏やかに晴れたことから、前社友会会長の御手洗さんを含む14名で、懸案のイノシシ除けの竹柵作りに取り組み、ほぼ完成することが出来ました。
- ・嬉しかったのは、柵の効果を確認出来たことです。
柵外のタケノコは、イノシシなどに掘り返されて見つけられませんが、柵内はイノシシが入った痕跡は無く、10~30cmに芽吹いたタケノコがあちこちに出ていました。
- ・香遠さんが犬の毛を集めて網袋に入れ、主要な個所に付けてくれたこととの相乗効果が生まれたようです。
- ・今後竹林については、今年のタケノコは出来るだけ掘らずに残す一方、柵内にまだ多数残っている古い竹の間伐を進め、竹林の若返りに取り組みます。
- ・活動頂いた14名の皆さん、お疲れ様でした。次回もよろしくお願いいたします。

■作業風景

もはや手慣れた作業で作業の分担もスムーズに進み、柵作りは順調に進みました。



■イノシシ除けの仕掛け

香遠さんが持参した犬の毛。 網袋に入れるのがポイントとか。



- ・犬の毛が入った網袋は、遊歩道沿いの竹柵の下部に5~7m間隔で取り付けてあります。
- ・人間の1000倍もあるイノシシの臭覚を利用したやりかたで、ネットで調べると、トウガラシの臭いも嫌いで効き目が有るとか。
- ・色の面では、イノシシは青、イノブタは紫色が嫌いなようです。
- ・聴覚も優れているので、鳴子なども試してみないといけませんね。

■ 柵の内側に芽吹いた新竹。

これからまだまだ出そうですから、掘らずに育てます。



- ・(上) 下からイタドリ、ゼンマイ、タケノコ。神於山は山菜も豊富です。
- ・(左) 突く・掘る・切る 3 拍子揃ったステンレス製移植ごて。御手洗さんの愛用品とか。

■ 参加頂いたメンバーの 14 名の皆さん。

御手洗さんを囲んで、森の恵みを手に一枚。



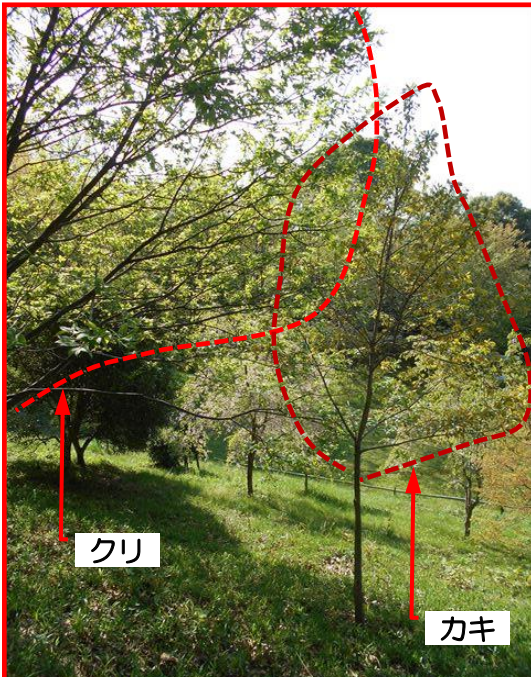
■情報色々。

ヤマモモが沢山花芽を付け、クリの木が見事な新緑に包まれて居ます。



- ・(上) 神於山のヤマモモは、大粒の立派な実を付けます。昨年は、活動日と収穫期が合わず、入山者に持ち帰られた苦い経験がありますので今年は臨時活動日を設けてでも収穫したいと思います。
- ・(右) 新緑に包まれたクリ。植えて間もなくイノシシに幹を割かれたのが奏功し、クリには珍しい多幹仕立てです。

困ったことが一つ。クリとカキが喧嘩を始めています。



枝が交差した中段のクリの木とカキの木



上段のクリの木とカキの木。交差しかけています。

- ・記念樹ゾーンのクリとカキの枝が交差し始めました。
- ・記念樹ゾーンには、ヤマモモ、クリ、カキの3種類の実のなる木を二本ずつ植えています。が、「桃栗三年、柿八年」とはよく言ったもので、ヤマモモとクリはもうしっかり実を付けていますが、カキはまだ成長途中です。
- ・そのクリとカキですが、植えた時は離して植えたつもりでしたが、クリが、植えて間もなくイノシシに幹を割かれたことから根元部分から枝分かれし、団扇のように枝を伸ばしているため、隣のカキと枝が交差し始めました。
- ・本年度の秋冬期に、カキをクリから数メートル離れたところに植え替える必要があります。